

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

事業名	令和6年度地域ふれあいコンサート				
担当課	文化課	担当者	碓氷	連絡先	4837

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	I 気づき始まる
最も該当する施策	I 気づき始まる 施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供
関連目標・施策	II 学び楽しむ施策 施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備

事業の概要

開催年度	平成7年度		
開催経緯	平成6年に船橋市総合体育館の開館記念事業として、市内の音楽団体が中心となって実施した「千人の音楽祭」を契機に、平成7年度から「ふなばし音楽フェスティバル」の一事業として開始。従来より、各公民館で行われていた演奏会を、地域ふれあいコンサートに位置付けたほか、長年の取組みの中で、地域の中で新たに実行委員会を組織し、会場数を拡大してきた。		
事業目的	市民に身近な施設である公民館等を会場に、気軽に良質な音楽の生演奏を楽しむ機会を提供するために実施している。また、事業の企画・運営は市民を中心としたボランティアによる実行委員会が担い、市民の力を結集し創意工夫のもと事業展開する“音楽のまち・ふなばし”ならではの事業となっている。		
定性目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が良質な音楽の生演奏を楽しむ機会を提供することで、文化的な交流を促進し、住民の心豊かな生活を支援することを目指す。 ・市民参加型の実行委員会によって、地域の創意工夫を活かした多様なプログラムを開催し、地域活性化に寄与する。 		
定量目標	開催予定館の定員数合計の約8割の入場者数を目指す。		
対象	地域住民		
事業内容	公民館など身近な場所で、プロの演奏家等によるコンサートを開催し音楽に親しんでもらう。 1月～3月		
実施主体	各地域ふれあいコンサート実行委員会	市との関わり	主催
情報発信	<input checked="" type="checkbox"/> 広報ふなばし <input type="checkbox"/> Facebook	<input checked="" type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> X	<input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> その他（パンフレット）

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

経年

年度	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)
事業費=決算額	1,549,792	1,853,812	1,867,379	1,618,086	1,200,000
市予算	1,140,347	1,227,508	1,091,840	1,066,641	1,200,000
補助金・協賛金等	327,945	390,904	313,539	408,945	
その他(チケット等売上)	81,500	235,400	462,000	142,500	
人工(常勤職員)	39人(1館約2人)	37人(1館約2人)	32人(1館約2人)	30人(1館約2人)	29人(1館約2人)
人工(会計年度任用職員)	32人(1館約2人)	34人(1館約2人)	30人(1館約2人)	29人(1館約2人)	34人(1館約2人)
その他人工(実行委員)	126人(1館約8人)	126人(1館約8人)	114人(1館約8人)	106人(1館約8人)	114人(1館約8人)
定量目標値	1,800	1,800	1,900	1,900	2,000
定量目標値の設定根拠	新型コロナウイルス 感染症の影響により、入場者数に制限を設ける可能性があるため、過去の実績値の50%	新型コロナウイルス 感染症の影響により、入場者数に制限を設ける可能性があるため、過去の度実績値の50%	開催館の定員数合計 ×80% ※開催館数の減少により、過去の実績値による設定が困難。	開催回数の定員数合計 ×80%	前年度の入場者数と開催予定館数から算出
定量実績値	1,023	1,692	1,770	2,251	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%					
事業内容 ※現年度は計画	開催予定館 16館 中止 2館 開催館 14館 新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため、定員数を削減、 2回公演に分ける、 など対応。	開催館 16館 新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため、定員数を削減。	開催館 15館 中止 1館 出演者の体調不良により中止のなった館の定員数が349人であり、その分目標人數をやや下回ってしまった。	開催館 14館	開催予定館 15館
定性目標の実績について 経緯・変遷	市内公民館は26館あるが、地域ふれあいコンサートを開催する館は年々減少傾向にあり、平成30年頃までは20館程で開催してきたが、近年では15館程度になっている。市民ボランティア実行委員の高齢化が進み、市民参加型の事業だが、実質職員によってコンサートの企画運営がされるようになってきた。				

自由記述 (これまでの欄で書き切れない 内容・特に推したい年度の事業 PR・補足説明等、自由に記入 する。)	
--	--

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

事業評価

評価対象年度	令和6年度
評価実施年度	令和7年度

事業所管課による一次評価

1:目標を大幅に下回ってしまった。 2:目標をやや下回ってしまった。 3:おおむね目標通りに達成できた。

4:目標をやや上回る実績が得られた。 5:目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 ■	3 □	4 □	5 □
	評価理由	来場者アンケートの結果から、来場者限定で見ると定性目標を達成できていると言えるが、地域ふれあいコンサートの開催館数が減少していることから市内全域で見ると達成できていない。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 ■	5 □
	評価理由	定量目標である入場者数1,900人をやや上回る実績を得られたため。				

文化振興推進協議会に助言・提案を求めたいこと（何が課題か、どのような助言を求めるか、明確に記入すること）	課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティアを中心とした実行委員の高齢化が進み、事務負担の多さから地域ふれあいコンサートを開催する公民館が年々減少している。 ・1館に対する市の予算が平成30年頃までは135,000円であったが、現在は80,000円に減額されたこともあり、少ない報償費での出演者探しに苦慮している館が多い。その結果、同じ出演者が異なる公民館で2年連続で出たり、同じ出演者が同年度に2館出たりする傾向があり、地域の創意工夫を活かした多様なプログラムを開催しているとは言い難い状況にある。
事業に対する評価・今後の事業展開への助言・提案	求めたい助言
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館での市民ボランティアに興味を持つ人を増やす取り組みについて助言を求める。 ・予算削減の経緯としては、行財政改革の一環もあるが、市の予算を使って地域の人たちが主体的に音楽イベントに参加する環境づくりは概ね達成できたとして、今後はチケット代徴収などの受益者負担によって実行委員会の自主財源によるコンサート開催に段階的に移行させる意図もあり、受益者負担分を差し引いた分の予算に減額された。しかし実際に実施してみると、コンサート会場のような部屋がある公民館はチケット代を取って収益とができるが、通常の部屋にパイプ椅子を並べてコンサートを開催している公民館はチケット代を取ることが難しく、無料開催している。そこで、実行委員会が自主財源によるコンサート開催ができるよう、チケット代の徴収以外で、各実行委員会が自力で収益を得る取り組みについて助言を求める。

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・今後の事業展開への助言・提案	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏者選定と運営の両方の課題解決が必要。 <演奏者選定の課題への助言・提案> ・80,000円の予算でプロの複数の演奏者を呼ぶことは難しい。演奏者はアマチュアも含めて検討することも一つの方法である。 ・チケット代による収入はあまり期待できない。 ・実行委員会がコーヒー販売等で資金集めをして、花束代や交通費、出演料の不足分を補填している公民館もある。 ・音楽大学を卒業したばかりの方や、在校生などの若手演奏家を呼ぶなどして工夫をしてはどうか。 <運営の課題への助言・提案> ・運営側の高齢化・人数減少に対し、アートマネジメント講座等で若い人材を育成してはどうか。 ・チケット代による収入はあまり期待できない。 ・実行委員会がコーヒー販売等で資金集めをして、花束代や交通費、出演料の不足分を補填している公民館もある。 ・アーティストの視点から、演奏会場の諸条件に対する評価を聞くなど、アーティストの声や提案を集約してみてはどうか。
-------------------------	---

フォローアップ

今後の対応 (文化振興推進協議会委員による二次評価を受けての対応を記入してください。)	<p>演奏者選定の課題について、船橋ゆかりのアーティストをプロ・アマチュア問わず情報を集約し、現状の予算でも招待できるアーティストを各実行委員会が選定できるよう体制を整えてまいりたいと思います。</p> <p>運営側の人材育成については、アートマネジメント講座は講師の確保等も含めて予算、時間がかかりますことから、まずは各実行委員会においてのニーズの把握に努めたいと思います。</p> <p>出演者からの声も聞きながら、運営側で改善できる点は全実行委員会で共有してまいります。</p>
--	--

対応の結果 (無理に結果を作り出す必要はありません。結果が出た場合のみ記入してください。)	
--	--